

ごあいさつ



理事長 東原民範

平素より格別なご支援とご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

本年も、地域の皆さまに当金庫についてより一層のご理解をいただき、安心してお取引いただけますよう、ここに「からしんディスクロージャー誌2020」を作成いたしました。当金庫の経営方針や2019年度の事業の概況、業務の内容、地域への貢献活動などについてご報告させていただきますので、ご参考にしていただければ幸いに存じます。

さて、前年度の日本経済は、働き方改革関連やITなどの技術分野への設備投資による企業収益や雇用環境の改善などを背景に穏やかな回復基調が続きましたが、一方では、主要な取引先である小規模事業者や中小企業の経営環境は、急速に進む人口減少や少子高齢化などを背景に、経営者の高齢化や後継者難、慢性的な人手不足といった構造的な問題が顕在化しています。また、年初からの新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大は、各国の経済はもとより社会生活全般に未曾有の影響を及ぼし、急速な景気の下振れ等企業業績にも大きな影響が出ており、既に様々な経営課題を抱えている小規模事業者や中小企業は、更なる苦境に立たされています。しかし、こうした厳しい状況にあるからこそ、地域のために存在し、地域を守るという信用金庫の使命を全うし、地域の皆さまとともにこの困難を乗り越え、地域経済を活性化させ、地域社会を持続可能なものとしていくため、当金庫はこれまで以上に地域との連携を深め、地域のお客さまのニーズに沿ったサービスを提供してまいります。

2020年度は経営3か年計画『共創による強固な経営基盤の確立に向けて』の最終年度であり、「地域支援力・営業力の強化」「経営力・内部管理態勢の強化」「人材力・組織力の強化」に重点的に取り組み、協同組織の地域金融機関として、会員・地域住民の皆さま、地方公共団体をはじめとした地域の関係諸機関との連携をさらに深め、地域経済の活性化、持続的な発展に寄与すべく役職員一同全力を挙げて営業活動に努めてまいります。

今後とも地域の事業者の皆さまや個人のお客さまの資金ニーズに積極的に取り組み、顧客サービスの一層の向上を図り、経営の健全性の維持・向上に努めてまいりますので、何卒変わらぬご愛顧とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2020年7月